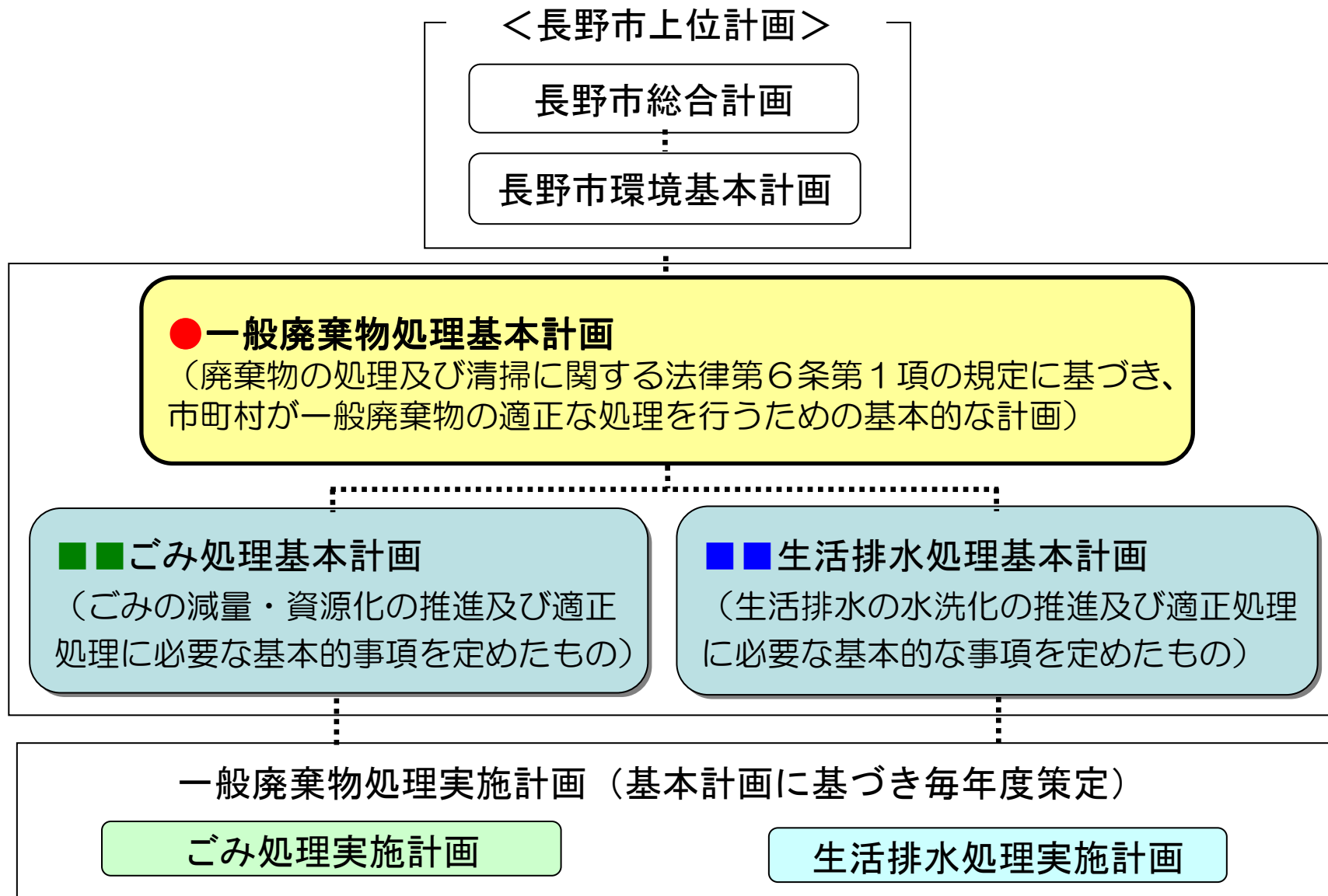


H26第1回審議会(H26/6/2)
資料 1

一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

環境部生活環境課

一般廃棄物処理基本計画の概要



計 画 期 間

平成23年度から平成28年度（6年間）

なお、平成23年度から平成25年度までの計画の進捗状況を踏まえ、平成26年度に中間見直しを行なうこととする。【長野市一般廃棄物処理基本計画から抜粋】

年度	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
計画スケジュール等	← 計 画 期 間 →					
	計画開始			中間年		目標年次
	施策実施					
			中間評価・見直し			
		ごみ量（推計値）の見直し	目標値・施策の見直し	施策実施		

廃棄物行政の動き①

・長野市の動き

※赤字はし尿関連限定事項

- ・平成23年4月 長野市一般廃棄物処理基本計画の策定
- ・平成24年2月 第二次長野市環境基本計画の策定
- ・平成24年4月 第五次合理化事業計画の策定
- ・平成24年8月 廃棄物減量等推進審議会から「一般廃棄物(し尿及び生活雑排水を除く)の処理手数料」について答申を受け、家庭ごみ処理手数料は現行どおり、清掃センター搬入手数料は一部改正
- ・平成25年1月 大豆島地区住民自治協議会から広域ごみ焼却施設建設について基本同意
- ・平成25年3月 長野市災害廃棄物処理計画の策定
- ・平成25年3月 大豆島地区住民自治協議会、長野広域連合、長野市の3者により「広域ごみ焼却施設建設に関する協定」を締結
- ・平成25年3月 天狗沢最終処分場の埋立終了
- ・平成25年4月 豊野地区分の処理を北信保健衛生施設組合から衛生センターへ変更
- ・平成26年4月 一般廃棄物(し尿及び生活雑排水)処理手数料の改定

廃棄物行政の動き②

・県の動き

■長野県廃棄物処理計画(平成23年4月策定、計画期間:平成23~27年度)

- ・基本目標…『もったいない』を大切にして、信州が誇るライフスタイルを！
- ・数値目標(一般廃棄物)

区 分	H20現状	H27目標
総排出量	722千 t	620千 t (△14.1%減)
リサイクル量	177千 t	186千 t
〃 率	24.6%	30.0%
最終処分量	73千 t	56千 t
〃 率	10.0%	9.0%

【参考】長野市の現状

区 分	H20(基準年度)	H25(直近)
総排出量	145千 t	134千 t (△7.6%減)
リサイクル量	34千 t	38千 t
〃 率	24.1%	28.4%
最終処分量	16千 t	11千 t
〃 率	11.0%	8.2%

・国の動き

■小型家電リサイクル法の施行(平成25年4月施行)

- ・背景…使用済小型電子機器等に含まれるアルミ、貴金属、レアメタルなどが、リサイクルされずに埋め立てられていることへの対応が急務
- ・目的…使用済小型電子機器等の再資源化を促進するための措置を講ずることにより、廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保を図る。

廃棄物行政の動き③

・国の動き

■第三次循環型社会形成推進基本計画(平成25年5月閣議決定)

・基本的方向

- ① 2R(リデュース・リユース)の取組がより進む社会経済システムの構築
- ② 使用済製品からの有用金属の回収と水平リサイクル等の高度なリサイクルの推進
- ③ 有害物質の適正な管理・処理
- ④ 新たな震災廃棄物対策指針の策定
- ⑤ 循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への活用
- ⑥ 低炭素・自然共生社会との総合的取組と地域循環圏の高度化

・取組指数(一般廃棄物関連)

指 標	H32目標
① 一般廃棄物の減量化	約890g
② 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源物を除く)	約500g
③ 事業系ごみ排出量	H12比約35%減

【参考】長野市の現状

H25(直近)
966.4g
425.4g
H12比17.5%減

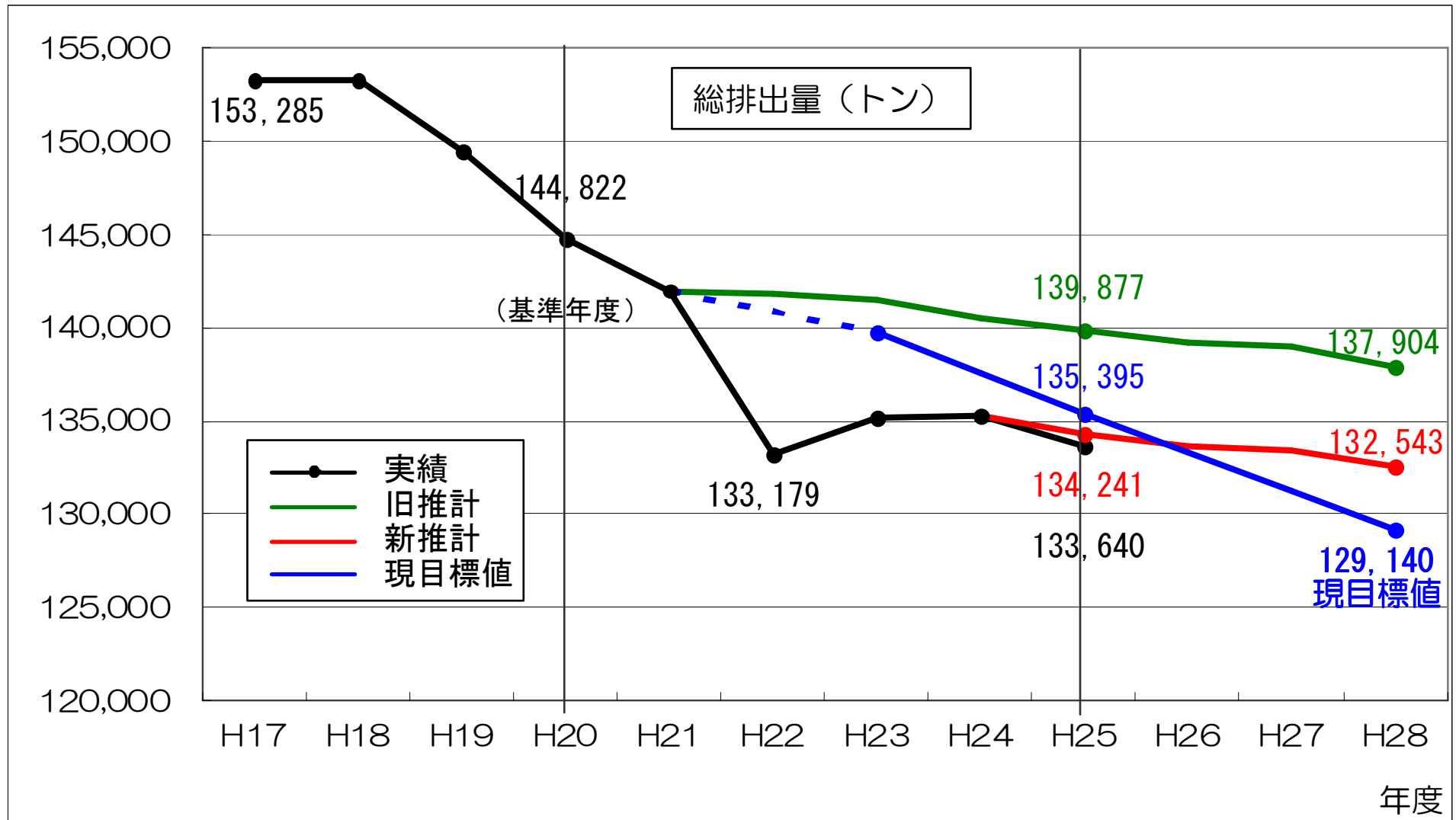
※ ①は1人1日当たりのごみ総排出量(家庭ごみ+事業ごみ+集団回収量)

ごみ処理基本計画の成果指標

区分	項目	基準年度 (H20)	H21	H22	H23	H24	H25	目標値 (H28)	H25実績値と 目標値との差	
成果指標	数値目標	1 ごみの総排出量(t)	144,822	141,988	133,179	135,143	135,255	133,640	129,140	△ 4,500
		2 市民一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量 (g/人・日)	609	602	568	578	576	569	548	△ 21
		3 事業系ごみ排出量(t)	43,583	42,017	38,879	39,565	40,460	41,258	39,200	△ 2,058
		4 リサイクル率(%)	24.1	25.3	28.9	28.5	27.9	28.4	29.9	+1.5
	成果目標	5 家庭系可燃ごみに占 める生ごみの割合(%)	58.8	68.4	46.2	42.1	51.4	31.6	50.0	△18.4
		6 家庭系可燃ごみの中 の資源物混入率(%)	20.5	16.0	20.1	16.4	17.5	15.1	17.4	△2.3
		7 ながのエコ・サークル 認定件数(件)	216	227	231	234	244	256	262	+6

※「2 市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量」は、集団回収を除く。

総排出量の実績と推計



収集人口の実績と推計①

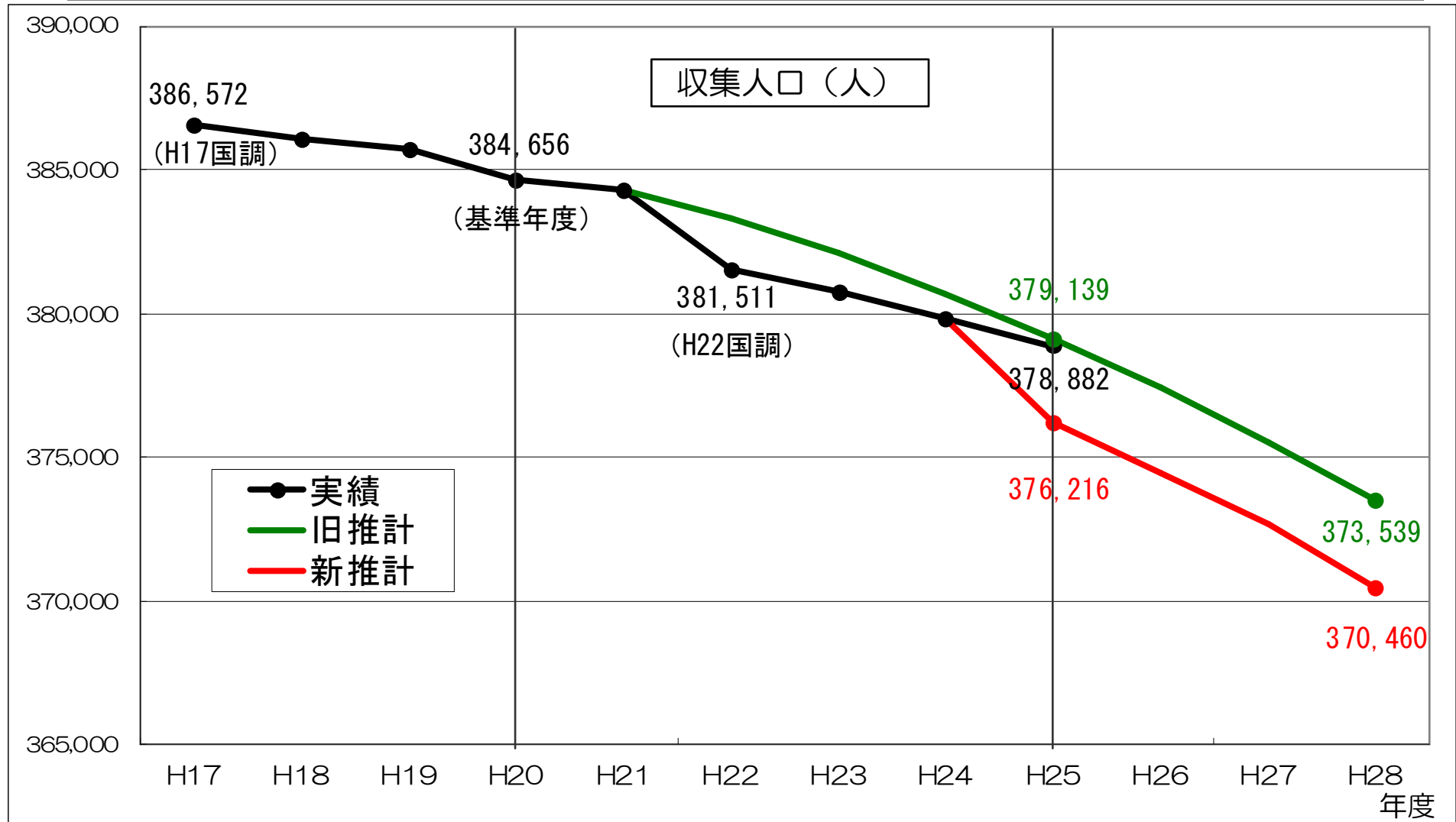
■将来人口推計は、コーホート要因法(※)による推計値とした。

年	実績(人)	旧推計(人) H17国調に 基づく推計	新推計(人) H22国調に 基づく推計	新推計と 旧推計との 比較
平成17年(2005)	386,572			
平成18年(2006)	386,090			
平成19年(2007)	385,693			
平成20年(2008)	384,656			
平成21年(2009)	384,327			
平成22年(2010)	381,511	383,334		
平成23年(2011)	380,768	382,121		
平成24年(2012)	379,867	380,713		
平成25年(2013)	378,882	379,139	376,216	△0.8%
平成26年(2014)	—	377,408	374,451	△0.8%
平成27年(2015)	—	375,538	372,685	△0.8%
平成28年(2016)	—	373,539	370,460	△0.8%
平成29年(2017)	—	371,418	368,235	△0.9%
平成30年(2018)	—	369,197	366,010	△0.9%
平成31年(2019)	—	366,891	363,785	△0.8%
平成32年(2020)	—	364,513	361,562	△0.8%

「実績」は、国勢調査を基に毎年の人口動態(出生・死亡・転入・転出)を反映させた推計人口(各年10月1日現在)

※ コーホート要因法…人口推計手法の一つで、人口の増減要因である出生・死亡・転入・転出等について
コーホート(同年又は同期間に出生した集団)ごとに個別に将来値を仮定して将来
人口を予測する方法

収集人口の実績と推計②



家庭ごみの実績と推計(総括)

■推計方法

- ① H21.10家庭ごみ有料化後、ごみ量の減量は概ね維持されているものの、直近の実績からは傾向が見出せないことから、H24の一人一日当たり排出量(区分ごと)を基礎数値に採用
- ② 区分ごとの基礎数値に新推計人口を乗じて、年間排出量を推計

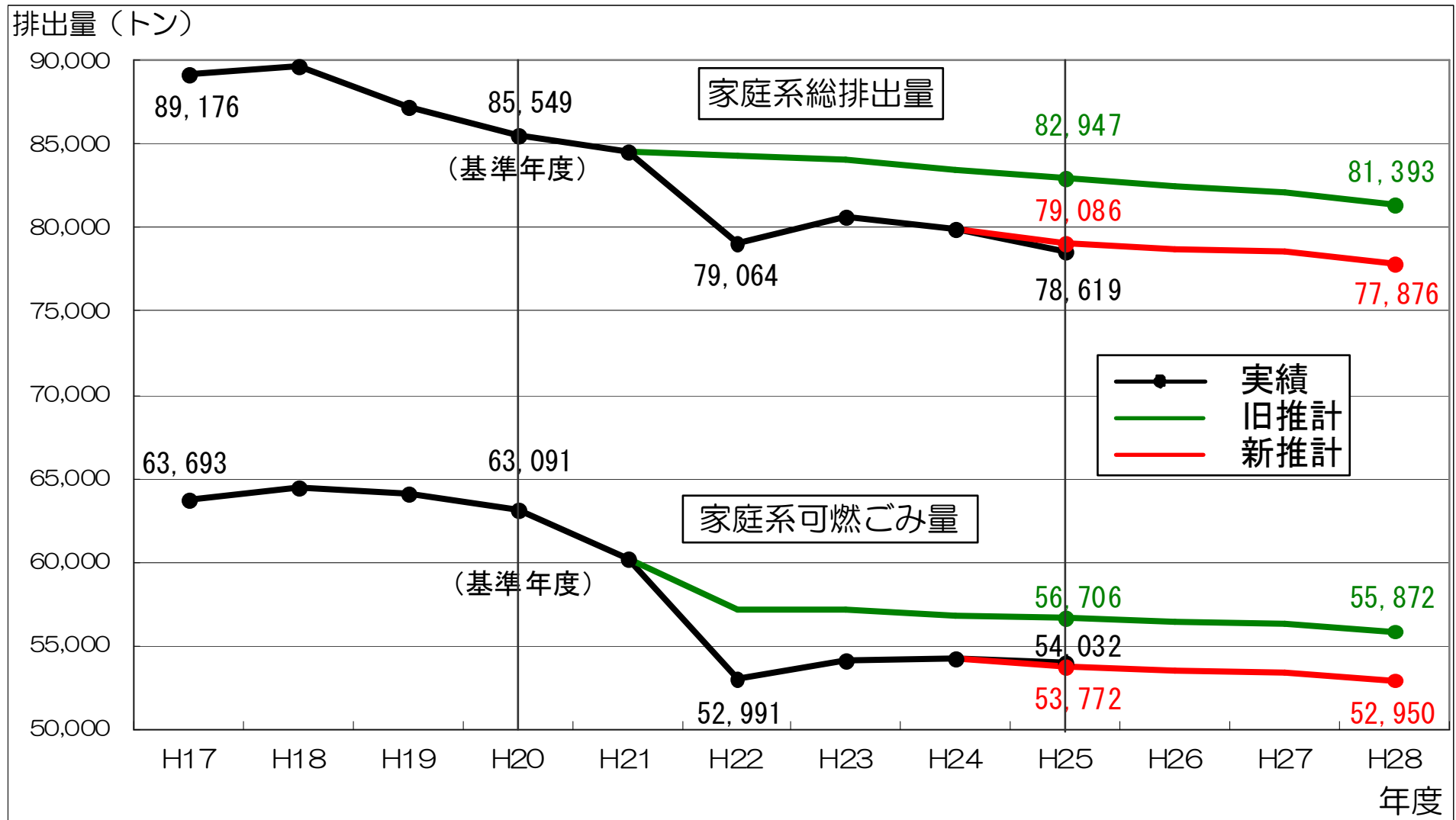
単位:トン

年度 区分	実績									新推計			
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
可燃ごみ	63,693	64,389	64,033	63,091	60,168	52,991	54,062	54,241	54,032	53,772	53,520	53,414	52,950
不燃ごみ	6,686	7,012	5,697	5,697	6,582	4,604	4,812	4,659	4,794	4,630	4,608	4,599	4,559
資源物	18,797	18,257	17,444	16,761	17,724	21,469	21,724	20,963	19,794	20,684	20,587	20,546	20,368
合計	89,176	89,658	87,173	85,549	84,474	79,064	80,599	79,864	78,619	79,086	78,715	78,559	77,876

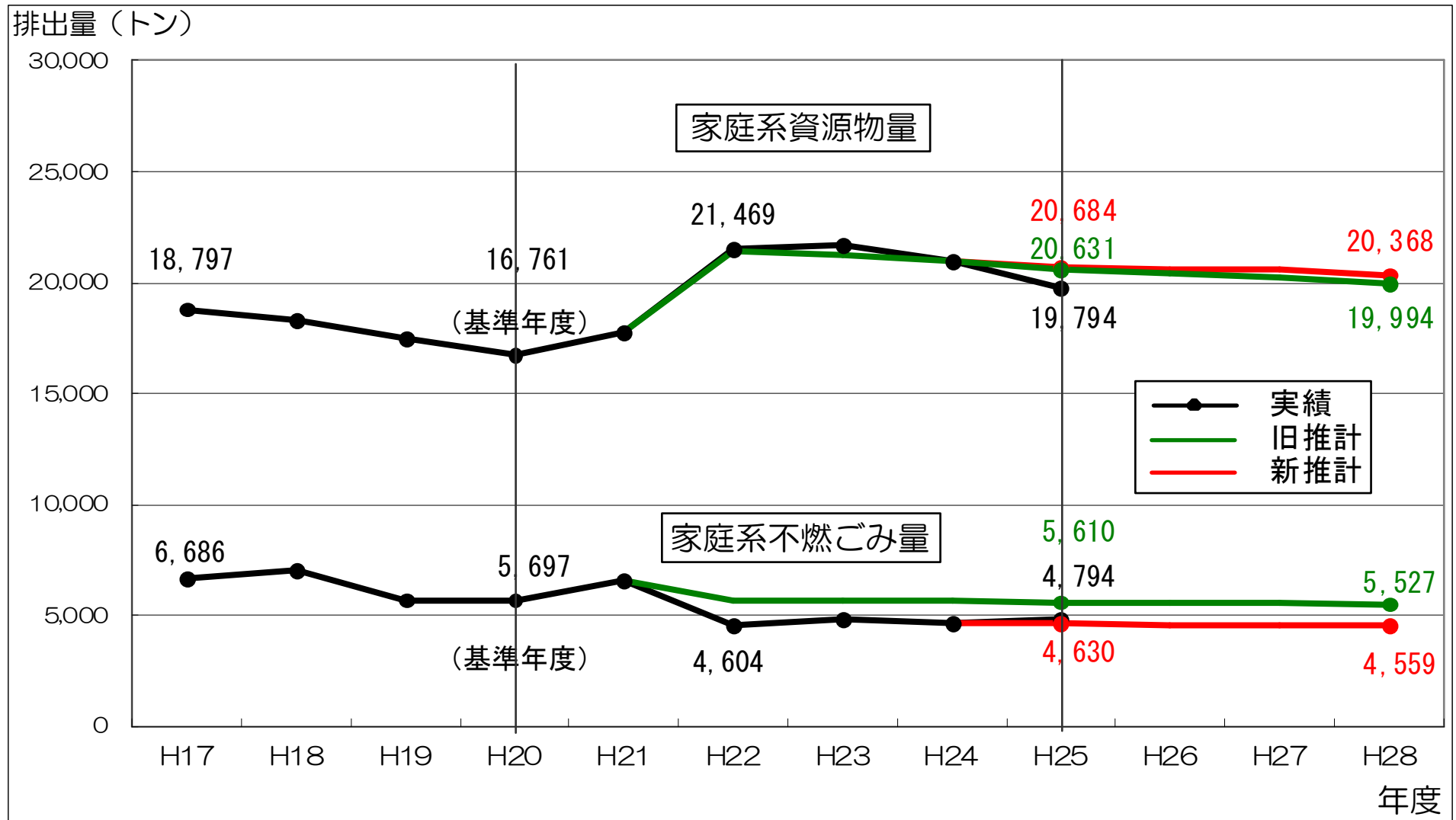
【参考】

年度 区分	旧推計						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
可燃ごみ	57,190	57,165	56,806	56,706	56,451	56,321	55,872
不燃ごみ	5,672	5,669	5,633	5,610	5,584	5,572	5,527
資源物	21,435	21,213	20,970	20,631	20,422	20,250	19,994
合計	84,297	84,047	83,409	82,947	82,457	82,143	81,393

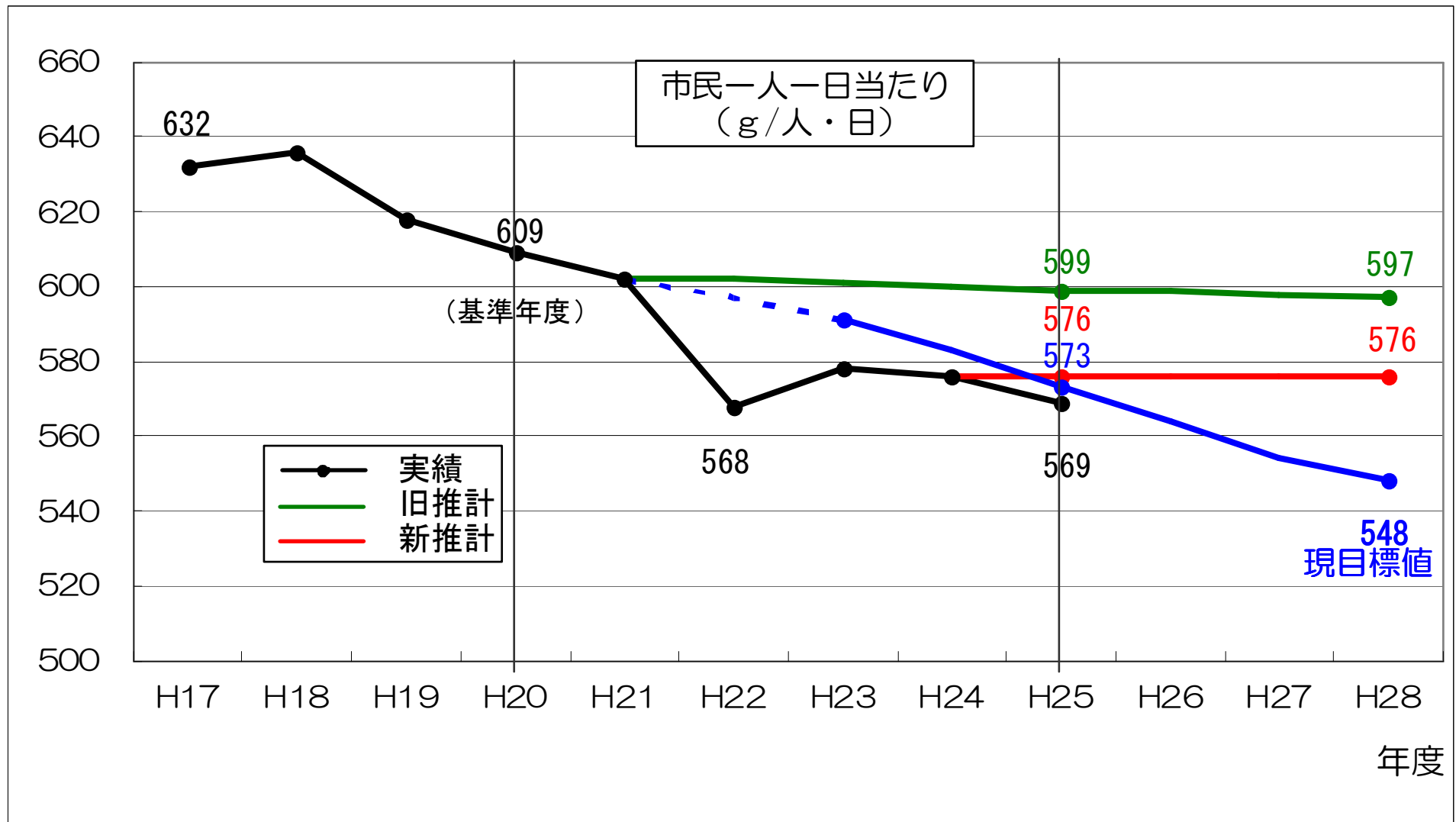
家庭ごみの実績と推計（総排出量・可燃ごみ量）



家庭ごみの実績と推計(不燃ごみ量・資源物量)



家庭ごみの実績と推計(市民一人一日当たり排出量)



事業ごみの実績と推計(総括)

■ 推計方法

- ① ごみ量は微増傾向にあるが、今後の景気動向が不透明なことから、H24の一日当たり排出量(区分ごと)を基礎数値に採用
- ② 区分ごとの基礎数値を基に、年間排出量を推計

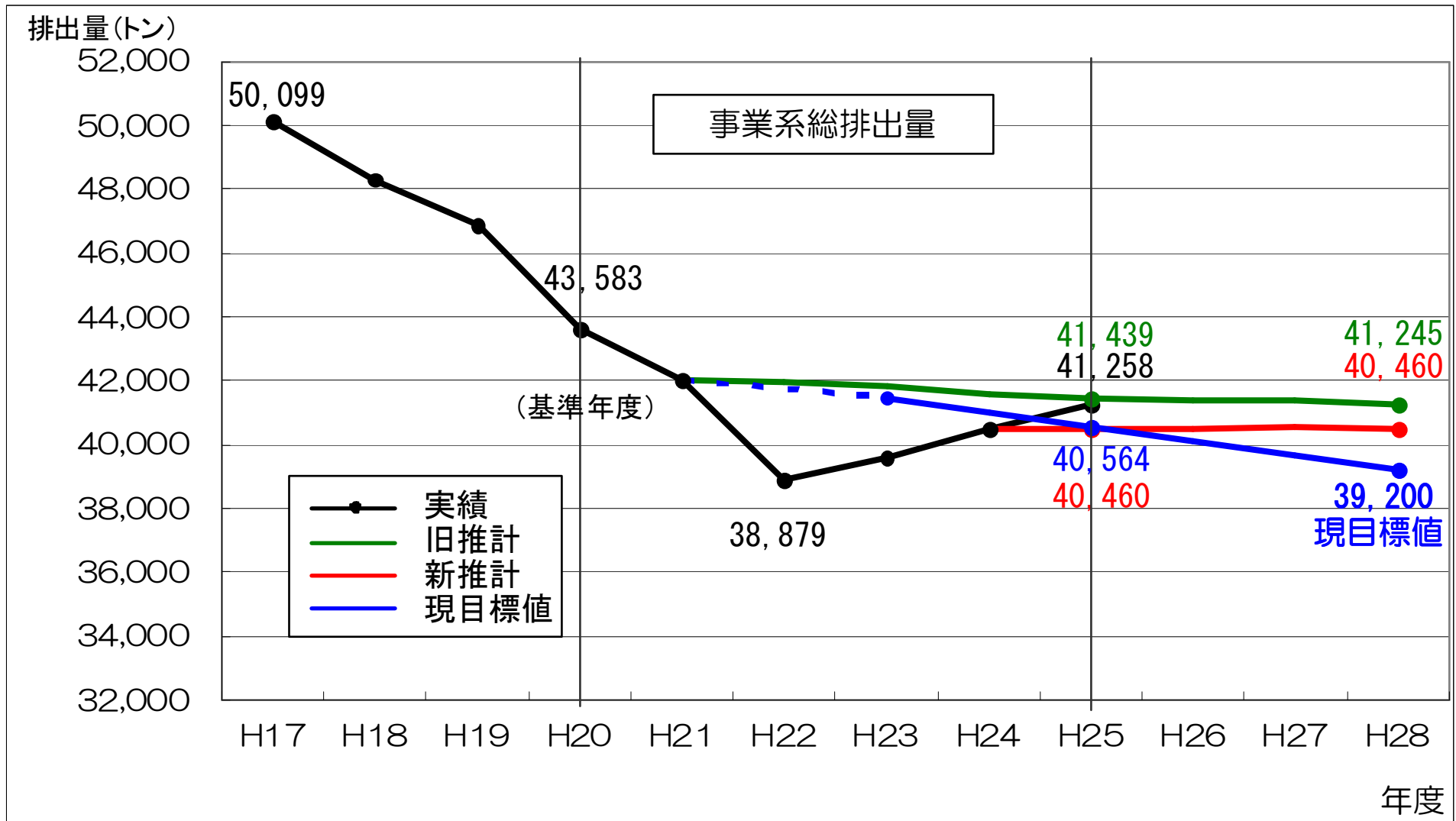
単位:トン

年度 区分	実績									新推計			
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
可燃ごみ	47,878	46,067	44,793	41,660	40,099	37,380	38,079	38,828	39,537	38,828	38,828	38,935	38,828
不燃ごみ	857	1,007	912	945	1,070	914	908	1,039	1,149	1,039	1,039	1,042	1,039
資源物	1,365	1,227	1,136	978	849	585	578	593	572	593	593	594	593
合計	50,099	48,300	46,841	43,583	42,017	38,879	39,565	40,460	41,258	40,460	40,460	40,571	40,460

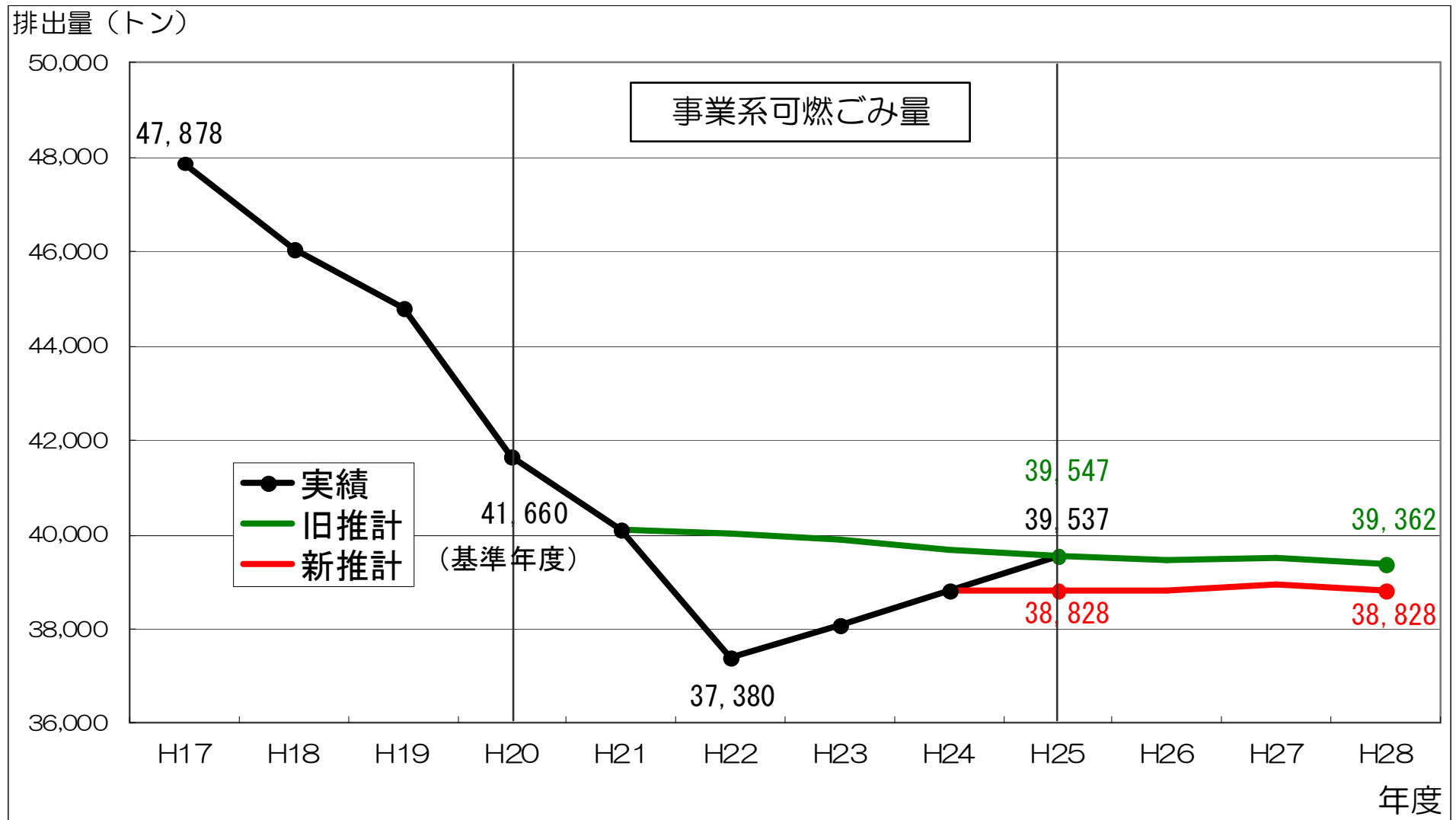
【参考】

年度 区分	旧推計						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
可燃ごみ	40,020	39,910	39,655	39,547	39,470	39,519	39,362
不燃ごみ	1,067	1,064	1,058	1,055	1,053	1,054	1,050
資源物	847	845	839	837	835	836	833
合計	41,934	41,819	41,552	41,439	41,358	41,409	41,245

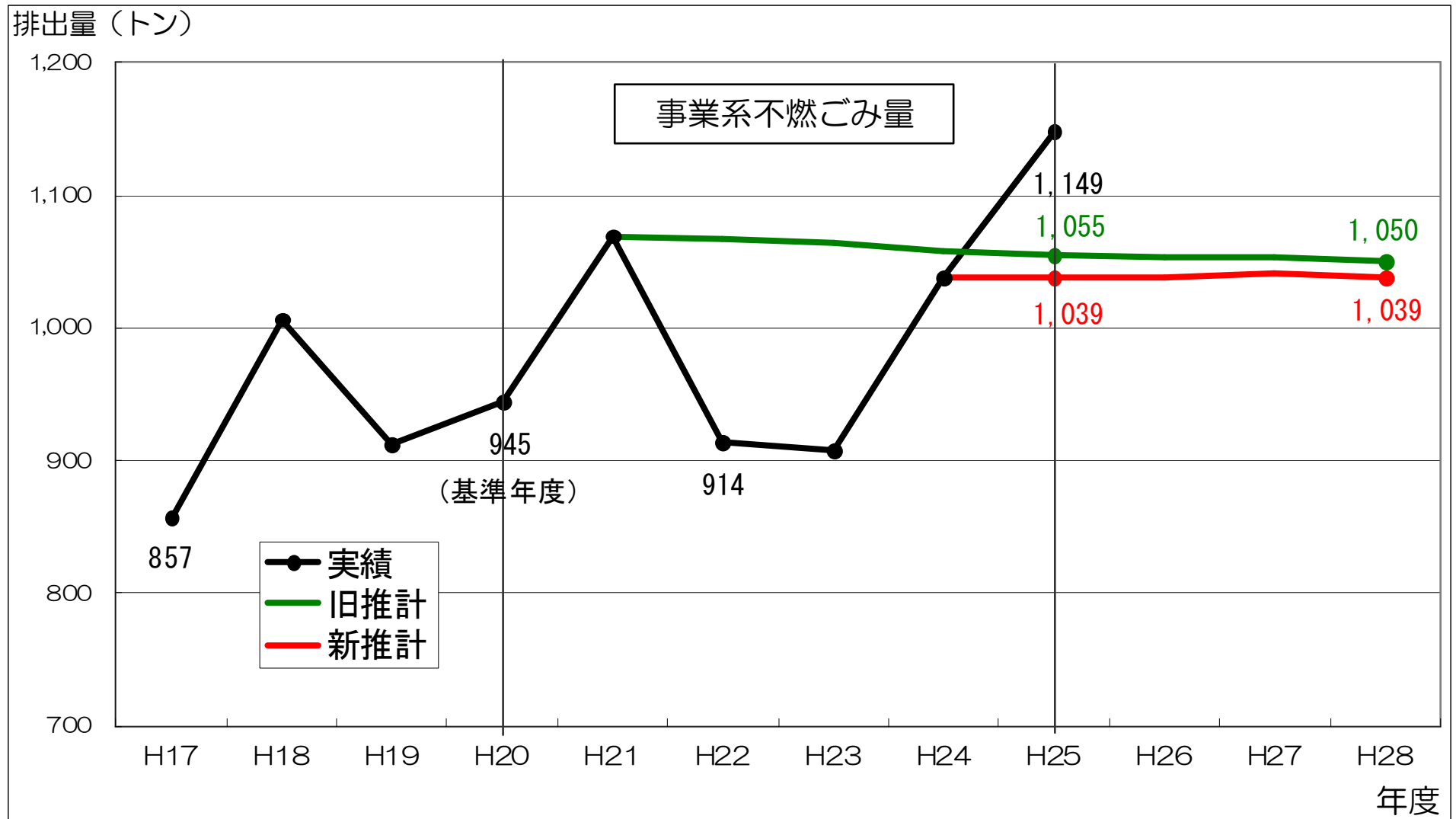
事業ごみの実績と推計(総排出量)



事業ごみの実績と推計(可燃ごみ量)



事業ごみの実績と推計(不燃ごみ量)



集団回収量の実績と推計①

■推計方法

- ① 直近(H20～H24)の実績による年度ごとの一人一日当たりの排出量(区分ごと)を推計
- ② 区分ごとの推計値に新推計人口を乗じて、年間排出量を推計

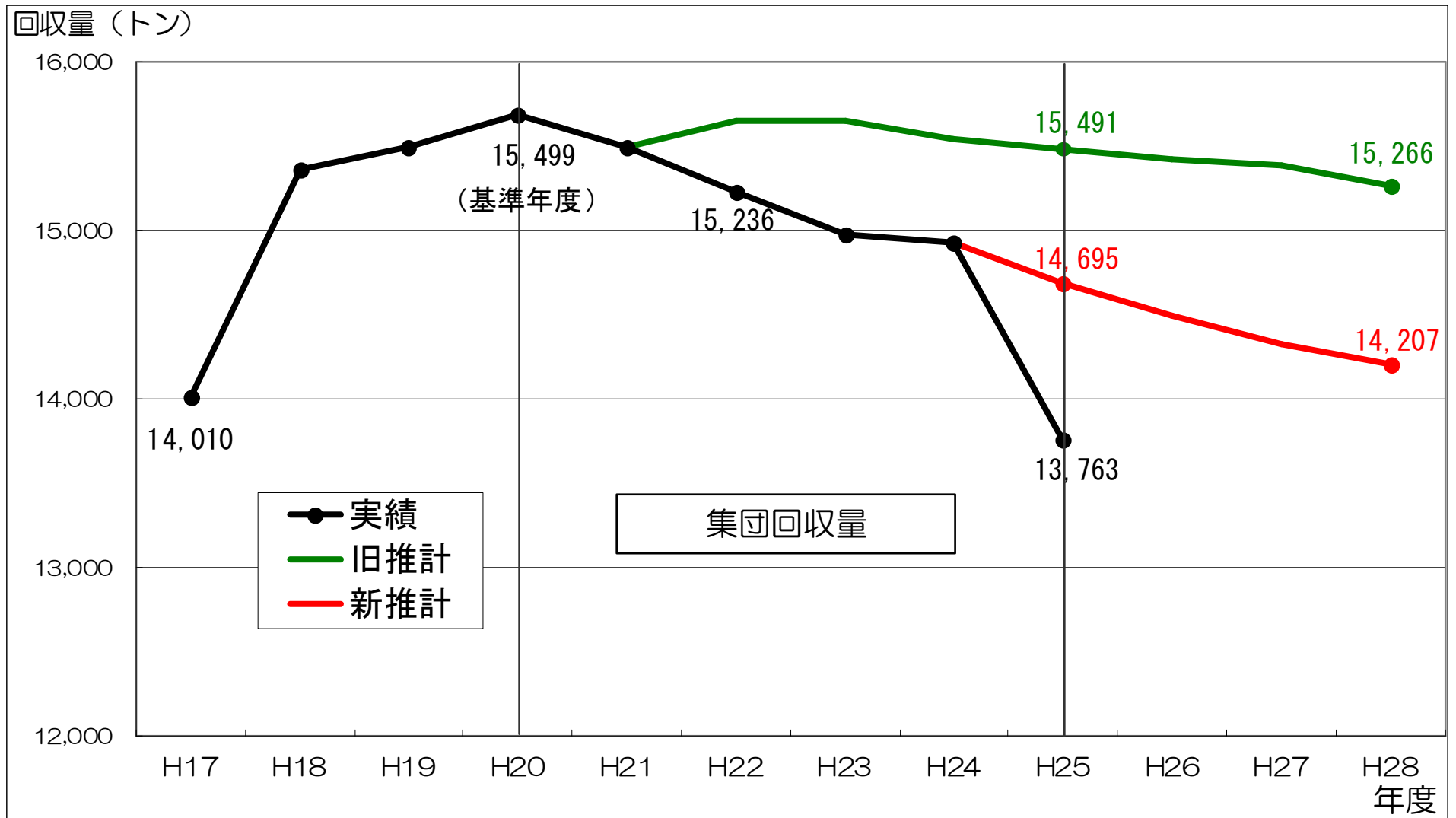
単位:トン

年度 区分	実績									新推計			
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
紙類	13,628	15,024	15,165	15,351	15,191	14,934	14,682	14,588	13,408	14,390	14,192	14,033	13,912
古布類	53	44	42	40	45	45	46	56	83	45	44	44	43
缶	61	68	75	94	90	101	109	120	112	99	98	97	96
びん	269	233	217	205	172	156	143	166	159	162	160	158	157
合計	14,010	15,368	15,499	15,690	15,497	15,236	14,979	14,931	13,763	14,695	14,493	14,332	14,207

【参考】

年度 区分	旧推計						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
紙類	15,321	15,318	15,219	15,160	15,091	15,057	14,940
古布類	43	43	43	42	42	42	42
缶	82	82	82	82	81	81	80
びん	210	210	208	207	207	206	204
合計	15,656	15,653	15,552	15,491	15,421	15,386	15,266

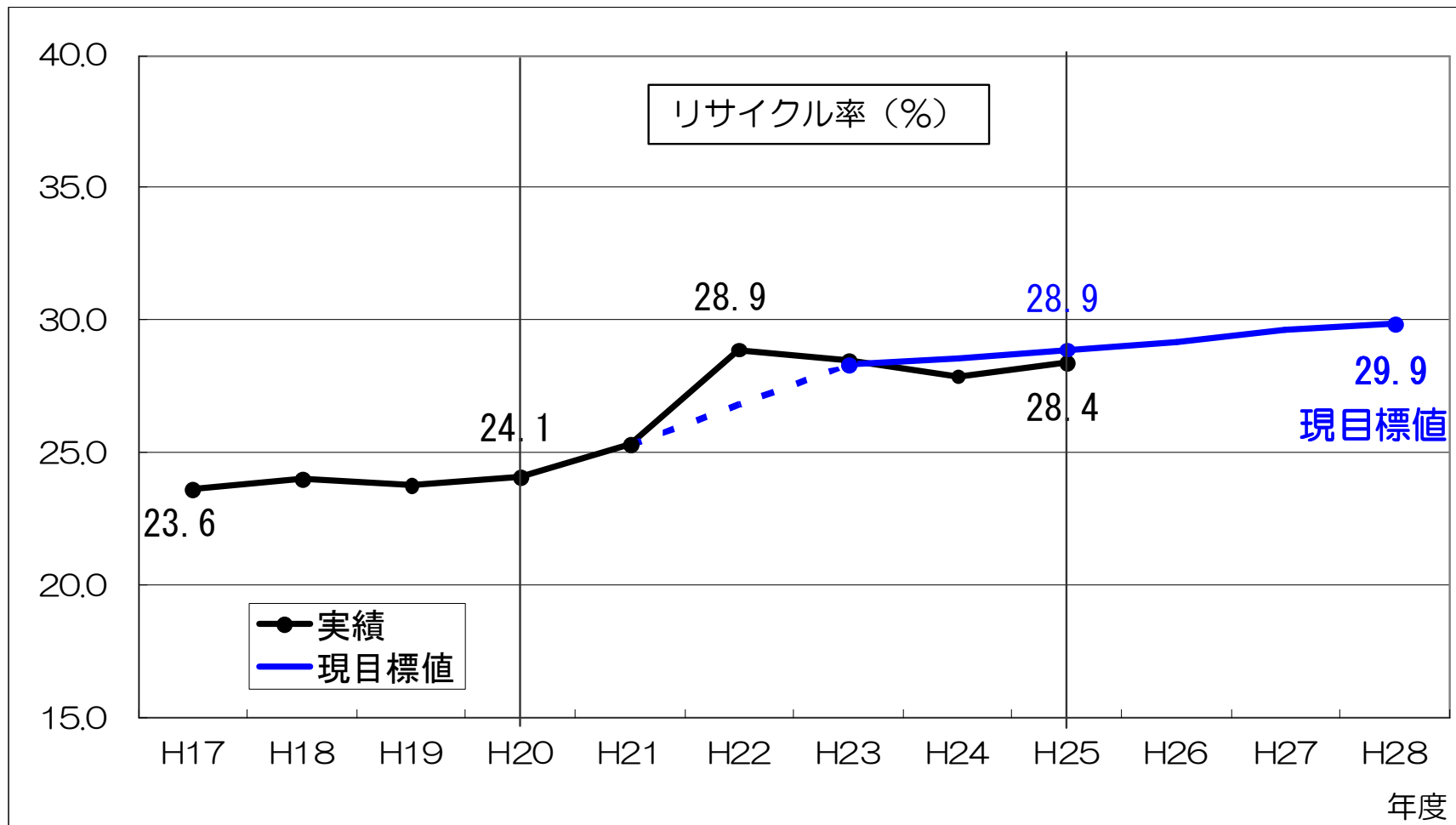
集団回収量の実績と推計②



リサイクル率の実績

■リサイクル率

資源化量(清掃センター等で資源化された量を含む) + 集団回収量 / ごみ総排出量



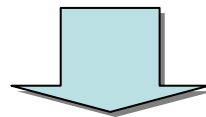
諮問内容

■社会的状況の変化

- ① 少子高齢化及び人口減少が著しく進行している。
- ② 小型電気機器等に含まれる有用金属、レアメタル等の回収・資源化が求められている。

■ごみ処理の現状

- ① 天狗沢最終処分場の埋立終了(H25.3)に伴い、焼却灰等を全量外部搬出している。
- ② 有料化後、家庭ごみの減量は維持されているが、停滞傾向にある。
- ③ 事業系ごみ排出量は、増加傾向にある。
- ④ 資源物の行政回収量及び集団回収量が減少している。



■目標値の見直し

- ・新たなごみ量推計を基に、改めて目標値について検討

■施策の見直し

- ・達成した施策、新たに進める必要がある施策、施策内容の修正等について検討